

令和4（2022）年度 ～島根大学山陰教員研修センター発～  
 学び続ける教師応援講習 シラバス

※非対面講習

講習名	言語・コミュニケーション発達の理論に基づいた 障害がある子どもの指導の実際		講習 レベル	応用 (学部3年～4年相当)	
授業形態	動画視聴・個人学習	時間数	6時間	定員	80名
本学発送予定日	資料等本学発送予定日 令和4年8月29(月)	受講 対象職種	教諭・養護教諭		
返送締切日 (必着)	DVD等返送締切日 令和4年9月22日(木)	主な 受講対象者	全校種		
担当講師	樋口 和彦（広島修道大学人文学部 教授）				
到達目標	(1) 幼児・児童・生徒の言語・コミュニケーションの変容過程を理解する。 (2) 幼児・児童・生徒が有する課題を学習・発達の視点から評価することができる。 (3) 理解した心理・言語の知識に基づいて、障害がある子どもの具体的な指導方法を考えることができる。				
講習の内容	特別支援教育対象の幼児・児童・生徒が、特別支援学校、特別支援学級のみならず通常学級にも多く存在する。学習指導要領の自立活動の内容は大綱的で、教師自身が障害の状態や発達の状況等に即して、具体的な指導内容を工夫することを求められる。子どもの発達や学習の状況の理解は、教師にとって重要な課題である。 本講義では、まず、特別支援教育に活用できる理論として、健常児の言語・コミュニケーションに関する内容を中心に理解を深める。特に、健常児の対人関係や認知に関する学習・発達のメカニズム、環境との相互作用（社会・文化的・歴史的視点：子どもが活動したくなる環境の準備等）について詳細に説明する。 次に、具体例の動画を視聴し、種々の障害の状況（発達障害から重度・重複障害の子どもまで）を分析し、学んだ理論の実際の指導への活用方法について検討する。				
日程 ※個人ワークの進み具合によって、講習時間が多少変更となる場合があります。	80分間	(動画視聴・課題) 主体的・対話的で深い学びの実現のために「アクティブ・ラーニング」の視点からの授業改善			
	80分間	(動画視聴・課題) ことばの獲得と学習・発達の原理（学習の3側面）			
	80分間	(動画視聴・課題) 共同注意の発達と生態心理学からのアプローチ			
	80分間	(動画視聴・課題) 学習内容を活かして実際の指導を考える			
		「事後アンケート」記入			
講習に関して各自準備するもの	・DVD(DVD-Video形式)の再生ができる機器。パソコンでの再生を行う際には、ソフトウェアが必要となる場合があります。				
事前課題	・特になし				
留意事項	・本学発送予定日頃に資料、授業動画の入ったDVD、事後アンケートを、申込時記入されている住所宛てに送付します。(発送予定日を3日過ぎても届かない場合は問い合わせてください。)動画を視聴し、各自受講してください。 ・事後アンケート、DVDは講習終了後返送してください。なお、動画・資料の複製は認められません。 ・講義の内容に関する質問等に、メールで対応します。 <a href="mailto:khiguchi@shudo-u.ac.jp">khiguchi@shudo-u.ac.jp</a> まで、ご連絡ください。				